



南ア、エスワティニ、レソトにお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ

【タイトル】

新型コロナウイルス情報（新規変異株同定に伴う南アの国際線運行状況）2021年12月12日現在

【ポイント】

- 11日付け当国の国際線フライトの運行状況の更新です。航空会社からの注意事項をご確認ください。
- カタール航空によれば12日から南ア発ドーハ行きフライトの運航を再開する予定でしたが、急遽運行上の理由により延期するとのことです。予約された方はカタール航空に確認してください。
- ルフトハンザ航空便のフランクフルト乗り継ぎ時のPCR陰性証明の72時間のカウントの仕方について、フランクフルト到着が検査実施72時間後に近接している場合、南アでのチェックイン時に、再検査を求められた事例がありますので、なるべく時間に余裕のある検査の受検及び空港でのチェックインは早めに行うことをお勧めします。
- 南ア国内でのPCR検査件数増加に伴い、結果受領のための必要時間が以前より長くなっています。検査機関に事前によくご確認ください。

【本文】

南ア国内における、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン」感染の広がりを受け、南アと各国を結ぶ国際線フライトのキャンセルが生じています。

本日時点で、乗り継ぎを含めて可能なフライトは、以下のとおりです。運航状況等は刻々と変更されるため、最新情報の入手に努めて下さい。

なお、邦人の方の感染事例が報告されていますので、引き続き感染防止に努めてください。特に無症状にも関わらず渡航前のPCR検査で陽性となる事例が見られます。また、南ア国内でのPCR検査件数増加に伴い、結果受領のための必要時間が以前より長くなっています。出発に間に合うよう確実に受領するため、検査機関に事前によくご確認ください。

1 ルフトハンザ航空

<https://www.lufthansa.com/xx/en/homepage>

注：乗り継ぎ地のフランクフルトでのトランジットは可能です。

ルフトハンザ航空便のフランクフルト乗り継ぎの際に、PCR陰性証明が確認されますが、この検査証明はフランクフルト到着時刻から72時間以内に受検されたものである必要があります。フランクフルト到着が検査実施72時間後に近接している場合、ヨハネスブルグでのチェックイン時に空港で再検査を求められた事例もありますので、なるべく時間に余裕のある検査の受検をお勧めします。

同航空会社からの注意事項をご確認ください。

<https://www.lufthansa.com/xx/en/flight-information.html>

なお、チェックイン時に日本の検疫当局が求める陰性証明書がドイツを出発前72時間と誤解しているケースが見られますので、下記リンクにて説明をしてください（Q8参照）。国際線トランジットで経由国での入国を伴わない場合、元の出発国での出発時点を「出国前72時間」の起算点としています。

https://www.auswaertiges-amt.de/en/coronavirus/2317268#content_2

<https://www.mhlw.go.jp/content/000825074.pdf>

2 エールフランス航空

<https://www.airfrance.co.za/>

注：予約・搭乗はパリ乗り継ぎ便のみ可能です。ただし、同航空はアムステルダム及びパリの2回乗り継ぎの便が含まれており、現時点ではアムステルダムでの乗り継ぎはできませんので予約時に航空会社にご確認ください。

パリ経由の場合は、出発前48時間以内に受検したPCR陰性証明が必要で、さらにワクチン接種しているかどうかで用意する書類が違います。以下リンクを参照してください。

<https://www.interieur.gouv.fr/Actualites/L-actu-du-Ministere/Certificate-of-international-travel#from4a>

*上記リンクページの中段のTRAVEL TO/FROM A SCARLET RED LIST COUNTRYをクリックし、参照してください。

「ご参考」

https://www.fr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/20001.html#prp

https://www.fr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/oshukarafrancenjukoku202101.html

3 カタール航空

カタール航空によると12日から南ア発ドーハ行きのフライトの運航を再開する予定でしたが、急遽運行上の理由で延期するとのことです。予約されている方は、カタール航空に確認してください。

<https://www.qatarairways.com/en/travel-alerts.html>

4 英国航空も運行を再開しますが、乗り継ぎ便可能な便があるかどうか確認が必要です。

なお、その他フライトでオランダ航空(KLM)、ユナイテッド航空、スイス航空、デルタ航空、も運航していますが、現時点においては南アからの搭乗は自国民や永住許可者に限られていたり、乗り継ぎができなかったりしているため、フライトの予約の際には必ずトランジットが可能かどうか、自国民以外の搭乗が可能かどうか各航空会社に最新の情報を確認してください。

5 エチオピア航空

外務省は、11月26日、エチオピア全土に対して危険情報レベル4退避勧告に引き上げており、さらに、12月3日、同国のボレ空港を利用した航空便の乗り継ぎは避けることを強くお勧めする広域情報を発出しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_20210151.html

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo_095.html#ad-image-0

参考：

●日本厚生労働省の水際対策に関わる新たな措置（最新）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

●日本外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

●当館HP

・新型コロナウイルス関連情報

https://www.za.emb-japan.go.jp/itpr_ja/covid19.html

・Q&A

<https://www.za.emb-japan.go.jp/files/100058671.pdf>

※「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下のURLから停止手続き



在南アフリカ共和国日本国大使館
Embassy of Japan in South Africa

をお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

※南ア、レソト、エスワティニ政府が所管する情報は予告なく変更されたりする場合がありますので、政府の公式なホームページ等より最新の情報入手に努めてください。

【問い合わせ先】 在南アフリカ日本国大使館

HP : http://www.za.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

住所 : 259 Baines St, Cnr Frans Oerder St, Groenkloof, Pretoria

電話 : +27 12 452 1500 領事・警備
